

公益財団法人 生涯学習振興財団

# 財団通信

発行所  
〒832-0814  
福岡県柳川市三橋町垂見18-2  
公益財団法人 生涯学習振興財団  
TEL 0944-72-5452  
FAX 0944-72-1803  
発行人 理事長：沖永佳史  
編集人 事務局長：井上正明

## テーマ 「今こそ大志を語れ」



公益財団法人 生涯学習振興財団  
理事長 沖永 佳史

高校生諸君の未来への夢や希望を「今こそ大志を語れ」というテーマのもと、小論文の形式で募集する当コンクールは、おかげさまで16回目を迎えます。今回も日本全国から9千以上の作品のご応募いただき、中身の濃い、若さあふれる高校生の皆さんの大志が届きました。熱い思いを論文に込めて応募くださった高校生の方々はじめ、ご指導いただいた先生方、審査委員の皆さま、そして当コンクールをあらゆる形で応援してくださる関係者の方々に心より感謝し、厚くお礼申し上げます。「今こそ大志を語れ」というテーマは、当財団の初代理事長

である沖永荘一博士が提唱したものです。自身が戦後の混乱期に青春時代を送った経験から、混乱の中にあっても自分自身を見失うことなく、自分たちは何をすべきなのか、どうゆう将来を構築していくべきなのかを考えて欲しいという今の若者に対するメッセージでございます。さて、近年の応募の傾向としては、手書きの作品よりキーボードから生まれた作品が目立っているようです。しかし、作品の味、行間の表現はやはり自筆による作品には及びません。美しい文字でなくていいのです。まずは自分の思いを自分のペンで綴ることがますます重要になるのではないかと思います。当財団は今後も、若者たちの夢を応援し続けます。引き続き当コンクールに多くのご参加とご支援を賜りたくお願い申し上げます。

## 第16回高校生小論文コンクール 基本テーマ 「今こそ大志を語れ」

「今こそ大志を語れ」をテーマにした高校生小論文コンクールでは、個人部門とグループ部門で、自分の未来や人生の夢、目標という身近なことから、福祉、教育問題、環境問題などの社会的な提言に至るまで、ジャンルを問わず、文章で綴る作品を募集しました。結果は左記の通りです。



沖永荘一博士記念大賞プロンズ像

### 個人部門 沖永荘一博士記念大賞（最優秀賞）

#### 「深く掘れ、私の胸中の泉」

沖縄県立立向陽高等学校 二年

#### 大城 沙織さん

### 優秀賞

#### 「私の未来」

福岡県立八女農業高等学校 二年

石橋 晴美さん

### 審査委員特別賞

#### 「守りたい自然」

鹿児島県立鶴丸高等学校 一年

中能 理紗子さん

### 一人に近い応募から

このたび財団主催の高校生小論文コンクール審査結果が発表された。この小論文コンクールは、基本テーマを「今こそ大志を語れ」として、沖永荘一前理事長の提唱である、「一人でも多くの現役高校生に、それぞれの夢を語っていただく」という趣旨ではじめられ、この度16回を迎えた。

コンクールは、個人部門とグループ部門に分けられ、自分の未来や人生の夢、目標という身近なことから、福祉、教育問題、環境問題等の社会的提言に至るまでジャンルを問わず、文章で綴る作品を募集している。

募集は10月末日に締め切られ、全国から1万人近い応募をいただいた。審査の結果は上記のとおりです。

審査は、11月に予備選考審査を経た後、最終審査は12月6日に柳川市の生涯学習会館で行われ、今谷明帝京大学文学部教授を委員長に、測上雄幸福岡県青少年科学館元館長、森山良一福岡県教育委員会元教育長、秋山和徳福岡県教育庁教育振興部高校教育課指導主事、矢田民也読売新聞西部本社編集局局長の各委員の活発な討議のもとで行われ、各賞受賞者が選ばれた。

表彰は1月25日(日)に福岡市のANAクラウンプラザホテル福岡で、沖永佳史理事長から受賞者に直接授与される。

### 審査委員長講評



帝京大学 文学部教授  
都留文科大学 前学長  
今谷 明

今回も一万人近い若い方々の熱心な応募をいただき感激しました。あらかじめ予備審査の先生方の御努力で第一次審査第二次審査とすすみ、最終審査の対象となった作品を審査員のお歴々と吟味し、議論し、最終的に選定することができました。さすがにしっかりと予備審査のおかげで最終審査に残った作品は、いずれも甲乙つけ難く、

それぞれ長所があつて、例年以上に表が分散した傾きがあつたと思います。

ただなかには借りもの、出来合いの議論にやや引き摺られた傾向の作品もないではなく少し残念でしたが、初代理事長沖永荘一先生の「高校生に夢を語ってもらおう」趣旨は、どの作品にも発揮されていて、「日本の前途は憂うるに足りず」と意を強くした次第です。

終わりに予備審査に当たつてくださった先生方に深謝いたしますとともに、次年度も一層の力作を広く応募していただきますように関係者各位の皆様をお願いして、審査委員長の挨拶とします。

### 受賞者の感想

沖縄県立向陽高等学校 二年

#### 大城 沙織さん

「大志を語る」このテーマで小論文を書くにあたり、私のペンはなかなか動きませんでした。私は高校二年生、進路に悩む日々が続く、この「大志」のテーマは私に重くのしかかっていたのです。

それでも迷いながら言葉を綴るなかで、気づけたものがあります。それは私の中に灯る「好き」という光です。今回の作品では、私がかよなく愛す文化について書きました。その行為は今まで不明確だった自分の志を



▲読売新聞西部本社編集局  
局次長 矢田 民也

はつきりとさせ、今まで私が行ってきた活動の全てを繋げてくれたようにも感じます。

私の思いを発信する貴重な場をいただいたこと、また私の小論文が評価されたことを大変嬉しく思います。今後はさらに自分の興味を活かすべく、活動を広げていきたいです。

ありがとうございます。

福岡県立八女農業高等学校 二年

#### 石橋 晴美さん

「受賞して思うこと」

今回、このような素晴らしい賞をいただくことができて、とても嬉しく思っています。将来の夢を文章にして表すのはとても難しく、何度も何度も書き直し、訂正を重ねて書き上げたものなので、今回の受賞で、その頑張りを認めてもらえた気がして、すごく嬉しかったです。

私の将来の夢は論文で述べたとおり、農業改良普及委員になることです。そう簡単に叶えられる夢ではありませんが、日ごろから努力し、しっかりと勉強すれば、きっと叶えられると思っています。あと数ヶ月で三年生になり、進路を決定する時期になりますが、これからも夢を叶えるために努力を続けたいと思っています。

鹿児島県立鶴丸高等学校 一年

#### 中能 理紗子さん

「受賞して思うこと」

「リサちゃん、新聞読んだよ。おめでとう。」

今年初めての電話の主は祖父でした。嬉しそうに、そして少し誇らしそうにおめでとうと繰り返す祖父の声が少し照れくさく、胸が温かくなりました。時折電話の向こうから流れ込む島のゆったりとした空気に、ああ、やっぱり好きだな、と実感させられるのです。

## 第16回高校生小論コンクール受賞者

### 佳作

〈個人部門〉

栗田実咲(天分県若田学園高校 1年) 「今を生きる」

田中李歩(福岡県立春日高校 2年) 「音楽からの導き」

白石沙樹(福岡県久留米信愛女学院高校 1年) 「未来への課題」

### 入選

〈個人部門〉

相浦光紀(福岡県立三池高校 2年) 「靴の力」

門内百恵(宮崎県立宮崎西高校 2年) 「夢を持つということ」

福田礼音(福岡県立三瀬高校 1年) 「将来の夢」

〈グループ部門〉

福田 誠 三島あおい 飯塚萌香

(島根県出雲西高校 2年)

「未来に向かつて」

濱田友暉 有村今日子 村上胡桃 福島ほのか

松尾雅希 山田知克

(福岡県立久留米高校 3年)

「消費者のために」

ショッピングセンターの集客工夫と心理の関係

山本雄哉 山田航平 吉竹大輝 立石菜々子

田中美幸

(福岡県立久留米高校 3年)

「双日が求める人材」

グローバル企業で活躍するために

### 特別学校賞

●福岡県立春日高校

●福岡県立三池高校

大好きな島の景色や生き物や空気を守りたい。受賞するにあたりさらに考えを深め、この思いを強くすることができました。しかし同時に、環境問題が一つの分野の枠を超えて複雑化を極めていく現代。自然保護が決して簡単ではないこともわかっていきます。だからこそ、今後は新聞やニュースなどいろいろな分野の出来事について知り、考えることで、様々な視点から問題を見つめ、解決していく力を身につけることが必要だと考えています。

広島県立加計高等学校 芸北分校

- 伊屋ヶ迫 広輝さん 三年
- 鷲野 由妃乃さん 三年
- 仁井山 志穂さん 二年
- 林 和樹さん 二年

小論文コンクールに

受賞した感想

今回第16回高校生小論文コンクールの審査員特別賞を受賞することが出来とてもうれいす。私達のグループは、はじめは「芸北地域をいかに活性化するか」ということをテーマにして色々考えていました。その中で「自分たちにできることはないか」という思いから、今回のテーマで小論文を作成しました。そしてこのような賞をいただくことができ、広くいろんな方に芸北分校のことを知っていただく機会ができたことをうれしく思っています。これからも、芸北地域が元氣と活力を取り戻

せるよう、自分たちができるところを考え、少しでも実現できるようにしたいと思えます。

福岡県立春日高等学校

校長 江口 善雄

「受賞して思うこと」

この度、特別学校賞を戴くこととなり、たいへん光栄に感じています。

本校では、これまでの表現力の育成を目的とした独自の取組に加え、文章の論旨を読み取り自らの意見として表現する力を高める指導の一環として、昨年度から2年生全員で本コンクールに参加させていたでいています。生徒たちの表現力は一朝一夕で育成できるものではないため、小論文という形で文章を書くことは、少しずつでも生徒個々の表現力の向上に繋がるものと考えております。

全体的に見るとまだまだ力不足であり、これからも生徒の実情に応じた様々な取組を継続していくことが必要ですので、今回の受賞に感謝しつつこれを一つの糧として、生徒たちの表現力を含めた生きる力の育成に、今後とも尽力して参ります。

福岡県立三池高等学校

校長 内野 孝一郎

「受賞して思うこと」感謝」

この度、特別学校賞という栄誉ある賞をいただき誠にありがとうございます。

本校は、「進取 至誠 自治」の校訓のもと、あらゆる活動とおして「志」を育てる教育の実践に努めており、その一環として生徒たちは、貴財団の「今こそ大志を語れ」をテーマにした小論文に取り組んでいます。今回応募した一二年生だけでなく、先輩から継承してきた取組が評価され受賞できたことに、深く感謝申し上げます。

社会人としての自立に向けて、高校生が「大志」を自らに問いかけ、表現することは、極めて有意義であると考えます。受賞を励みに、今後もこの取組を充実させ、「大志」を抱き、その実現のために努力できる人の育成に努めてまいります。



▲最終審査の様子

学校賞

- 山口県：長門高校
- 福岡県：朝倉高校・ありあけ新世高校・香椎高校
- ・嘉穂高校・久留米高校・誠修高校・太宰府高校・伝習館高校
- ・福岡中央高校・北筑高校・三潴高校・三井中央高校
- ・武蔵台高校・宗像高校・明善高校(定時制)・八女高校
- ・山門高校・八女工業高校・八女農業高校

学校奨励賞

- 広島県：呉三津田高校・広高校
- 高知県：高知商業高校
- 福岡県：朝倉東高校・大牟田高校・大牟田北高校
- ・北九州工業高等専門学校・久留米信愛女学院高校
- ・輝翔館中等教育学校・新宮高校・筑紫丘高校
- ・筑紫女学園高校・筑紫台高校・筑紫中央高校・柏陵高校
- ・福岡工業大学附属城東高校・福島高校
- 宮崎県：宮崎西高校
- 鹿児島：鶴丸高校

奨励賞

- 高知県：秋山聖矢(高知商業高校3年)
- 広島県：滝口優実(呉青山高校1年)
- ・大橋怜奈(呉三津田高校1年)・藤原聡一郎(広島学院高校1年)
- 山口県：桜井 遥(徳山高校 2年)
- 福岡県：野上愛理(朝倉東高校3年)
- ・佐藤智穂実(ありあけ新世高校3年)・高野優花(香椎高校3年)
- ・(倉葉菜理(嘉穂高校2年)・庄籠輝恋(輝翔館中等教育学校2年)
- ・中村萌子(久留米高校1年)・田川芽久(修猷館高校2年)
- ・古賀詩織(城南高校2年)・平野夏希(大宰府高校2年)
- ・井上みなみ(筑紫丘高校1年)・立石阿稀子(筑紫女学園高校2年)
- ・龍 優里枝(伝習館高校1年)・木下亜美(福岡中央高校1年)
- ・酒井愛理紗(福島高校2年)・松田あかね(三井中央高校1年)
- ・杠 知亮(三池高校1年)・緒方啓介(明善高校2年)
- ・古賀友里合(山門高校2年)・富久奈々(八女高校2年)
- 長崎県：東 桃加(佐世保北高校2年)

―敬称略順不同―

# ジュニア美術展盛況の中終了

平成26年度第25回筑南ジュニア美術展表彰式

南筑後地区の園児・小・中学生までを対象とした筑南ジュニア美術展の作品展が10月14日より5日間開催された。

応募総数5648点の作品より審査の結果243点の作品が入賞した。

最終日の10月18日午前10時半より表彰式が行われ各校の入賞者を代表する子供達に賞状や副賞などが授与された。

また館内は連日家族づれの参観者が多く、作品の前では写真撮るなどほほえましい光景が見られた。



なお、作品は10月15日から20日まで会館内に展示した後、優秀作品は過去の作品も含めて会館内ホールに展示していますので参観ください。

(入賞者一覧は財団通信No.60号で既に発表しています)

## 公開講座

今年も帝京大学福岡医療技術学部の先生方より8講座を開いて頂きました。

受講者の方々のご意見から

- ・どの講座も内容が豊富で講義はとても解り易かった。
- ・最新の情報を得ることができありがたかった。
- ・食生活や運動することの大切さを教えていただいた。
- ・視野がせまく他人と比較している自分に気づいた。
- ・講座に関心が高くなりもっと時間をかけて聞きたい。



## 学習クラブ講座

10月4日、5日の2日間学習クラブ作品展が開催された。おもなクラブは、書道、表装、パンフラワー、ちりめん布工芸等、一年間の学習の成果が展示され、秀作、力作揃いで作品の魅力を主張していました。



## 第23回 大牟田地区学習クラブ手作り作品展

今年度も、帝京大学福岡キャンパスの帝京祭に協賛して10月25・26日の二日間行われた。

丹精した作品に来場者から感嘆の声がもれていた。



## ゆめ夢 学習講座 クラブ

ただ今、入会募集中!

毎週土曜日、英会話、算数、美術教室を行っています。



※詳細は財団事務局へ